

広島空港アクセス等情報システム提案書評価基準

評価資料	評価項目	配点
基本事項		
1	<p>○本業務の目的を十分に理解したうえで、その実現に向けた具体的かつ効率的な戦略が示されているか。</p> <p>○本業務の調達の背景を理解し、課題の把握・分析等を行ったうえでシステム改修によりどのように改善されるかビジョンが明確になっているか。</p>	15
情報システムの機能		
利用者の利便性にかかる機能		
2	<p>○広島空港利用者が各目的地への経路を選択する際に必要な情報を容易に取得でき、方面別の移動手段を選択できる工夫がされているか。</p> <p>○バスやJRなどの交通機関が遅延や運休した際に、利用可能な代替移動手段を即時に表示できる仕組みとなっているか。</p>	25
運用者の利便性にかかる機能		
3	<p>○システム運用者が情報を簡単に入力・編集でき、業務負担を軽減できる工夫がされているか。</p> <p>○空港アクセスバスの運行実績などを出力でき、システム運用者の業務利便性が向上するような仕組みとなっているか。</p>	25
画面要件		
4	<p>○広島空港利用者が瞬時に最適な交通手段を選択できるような、見やすく、わかりやすい表示で提供されているか。</p> <p>○複数のレイアウトや4面マルチモニターの利用によって、利用者が視覚的な情報の整理や比較が容易なデザインが採用されているか。</p> <p>○緊急時にイレギュラー情報が利用者に効果的に伝わるか。</p>	25
情報システムの品質・性能		
5	<p>○陳腐化の可能性が低い技術及び安定したサポートが受けられる製品の採用、各種制度の改正への対応に迅速かつ適切に対応するため、機能の追加や変更が容易なシステム構造となっていることなど、長期にわたって最小限の費用で利用し続けられるよう設計されているか。</p> <p>○入力ミス及び操作ミスを抑制する仕組み、また発生した場合に容易な手段でリカバリできる仕組みとなっているか。</p>	15
情報システムの拡張性		
6	<p>○本システムが長期的な利用を前提としているため、今回の改修から将来の新システムへの更新時に、情報を適切に引き継ぐことが可能か。</p> <p>○次世代のシステムにおいて、技術的問題を起点とした参入障壁を回避するための工夫がなされているか。</p>	15
情報セキュリティ		
7	<p>○本調達仕様書に記載されたセキュリティ要件を満たしているか。不正アクセスやデータの保護に対する具体的な対策が示されているか。</p> <p>○セキュリティ事案発生時の具体的な対応策が示されており、原因究明や再発防止策が明確に示されているか。</p>	15

広島空港アクセス等情報システム提案書評価基準

評価資料	評価項目	配点
開発・教育		
8	<ul style="list-style-type: none"> ○作業工程が具体的に示されており、現実的なものであるか。 ○責任者及び開発要員の配置について、適切な体制が提案されており、仕様書に記載された開発要件を満たすことができるか。 ○システム稼働前後において、操作研修や説明会、マニュアルなどにより、操作内容の理解向上が図れる工夫がなされており、運用者向けサポート体制が充実しているか。 	15
運用・保守		
9	<ul style="list-style-type: none"> ○システム稼働環境の変化に対応できるよう考慮されているか。 ○恒常的な保守体制の維持について、具体的な方策が示されているか。 ○不具合・脆弱性への対応及びその実施方法は仕様書の要求を満たしているか。 ○サイネージサービスを安定的に提供するために、時間中、時間外の対応等の体制が確立されているか。 	5
価格評価項目		
見積書	・見積価格を基に、次の算定式で判断する 配点(20)×(提案者中の最低見積金額)/(当該提案者見積金額) 小数点以下を四捨五入	20
	・見積価格を基に、次の算定式で判断する 配点(10)×(提案者中の最低見積金額)/(当該提案者見積金額) 小数点以下を四捨五入	10
自由提案項目		
10	本調達仕様書に記載する要件以外で、本件の目指す姿の実現に向けた実用性ある提案がなされているか	15
計(評価値)		
		200

最低基準点は100分の60以上の点とし、評価値が点に満たない提案は採用しない。

評価項目を評価基準により5段階で評価し、重要度を乗じた数値の合計を評価値とする。

- 5: 特に優れる
- 4: 優れる
- 3: 普通
- 2: やや劣る
- 1: 劣る

提案書に対するコメント欄